

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(1) 生活習慣病の早期発見・対策				
<p>・市町と連携し、特定健診受診率の向上や特定保健指導等による発症予防・重症化予防・合併症予防を進めます。</p>				
	菊池郡市医師会	<p>・市町行政からの相談に対応協力するよう努力し、新規開業医療機関への特定健診等の事業紹介に取り組んでいる。また、診療に係る検査結果の情報提供を行い、受診率向上への協力を行った。</p>	<p>・健康維持促進のため特定健診等への受診率向上に対する出来る限りの協力を行う。</p>	<p>・特定健診受診率向上に向けて協力体制を堅持している。</p>
	菊池郡市歯科医師会	<p>・歯科保健事業検討会(菊池市、合志市)を開催した。</p>	<p>・歯科保健事業検討会の開催(菊池市、合志市、菊陽町、大津町)</p>	<p>・歯周病検診・後期高齢者歯科口腔健診ともに受診率は微増</p>
	菊池郡市薬剤師会	<p>・菊池市ならびに医師会と連携して、対象患者に保健師・栄養士を個別に紹介した。</p>	<p>・令和6年度事業を継続</p>	<p>・対象者が限定されており(社保が含まれていない)効果が不十分</p>
	熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部	<p>・企業健診、地域の歯科検診において歯科保健指導を行った。</p>	<p>・継続して行う。</p>	<p>・定期検診を受けている人は増加傾向であると感じた。研修会への参加。</p>
	菊池市	<p>・国保部局と連携し、受診しやすい体制整備や受診勧奨事業、集団健診同日実施の特定保健指導や専門職による重症化予防等実施した。</p>	<p>・例年よりも時期を早め受診勧奨事業を実施。また、重症化予防事業のCKD対象者について、基準を見直した。その他は令和6年度同様の取組を実施。</p>	<p>・令和6年度特定健診受診率の増加(40.6%)につながった。継続受診が昨年度よりも増加</p>
	合志市	<p>・40、45、50、55歳の国保加入者に健診無料クーポン券を発行した。 ・未受診者への郵送・電話による受診勧奨を行った。 プレミアム健診、スペシャル健診(特定健診+運動教室、ランチ付きの栄養教室)を実施した。 ・早期受診者に対し、抽選によって商品券等の贈呈を行った。 ・特定健診結果に基づき、受診勧奨レベルの者への個別保健指導の実施した。</p>	<p>・令和6年度同様に特定健診受診率の向上に向け、無料クーポン券発行、未受診者勧奨や受診者にインセンティブの実施、巡回健診などを実施した。</p>	<p>・令和6年度は特定健診受診率36.5%と前年度より3.5ポイント上昇がみられた。しかし、40代・50代の受診率が低く、継続して今後の課題である。</p>
	大津町	<p>① 特定健診受診率の向上(国保の特定健康診査の実施率見込み:41.1%) ・複合型健診や早朝・土日健診を実施した。 ・30歳からの集団健診を実施した。 ・健診未受診者へ受診勧奨を実施した。(8月通知:360人、12月電話:40人) ・申込案内時に同封するチラシにナッジ理論を取り入れた。</p>	<p>① 特定健診受診率の向上 ・複合型健診や早朝・土日健診を実施。 ・30歳からの集団健診を実施。 ・健診未受診者へ受診勧奨を実施(8月通知:400人、12月電話:75人) ・申込案内時に同封するチラシにナッジ理論を取り入れる</p>	<p>・特定健診受診率=R5:44.4%、R6:41.1% ・特定保健指導=R5:11.4% ・複合検診の受診率が向上した。 ・方法・内容を検討改善しながら、引き続き実施。</p>

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
	大津町	<p>② 特定保健指導(特定保健指導実施者数:動機づけ77人、積極的21名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先と連携し、特定保健指導(オンライン支援の導入、健康アプリの活用)を実施した。 ・過去5年分の特定健診結果を提供した。 <p>③ 情報提供対象者への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政システム(健康)の更新により、システムで指導・受診状況を一元管理した。 ・情報提供対象者の一部に対して健診結果説明(集団)を6日/年(計21回)行った(参加者数:165人)。 ・健康教育を実施した。 運動・栄養教室(痩せる塾):13日/年、参加者数:35人 運動・栄養教室(栄養教室):2回/年、参加者数:35人 食生活改善推進による生活習慣病予防教室:2回、参加者数:46人 健康推進教室を実施した。 生活習慣病予防教室(健康カラダづくり):28日/年、参加者数:延べ525人(実人数66人) インボディ:75日/年、参加者数:延べ1,660人(新規458人) 運動教室(筋力アップ):80日/年、参加者数:延べ1,081人(実人数150人) <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康イベント(2回/年)…イオン、福祉まつり 	<p>② 特定保健指導(特定保健指導実施者数見込み:140人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先と連携し、特定保健指導(オンライン支援の導入、健康アプリの活用)を実施 ・過去5年分の特定健診結果を提供 <p>③ 情報提供対象者への取組(人数は見込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政システム(健康)の更新により、システムで指導・受診状況を一元管理。 ・生活習慣病リスクのある人(腹囲・血糖・LDL)を対象に、集団で結果説明・生活習慣病予防講義を実施(参加者数:300人) ・重症化予防訪問対象者の条件を見直し。血糖・腎機能対象者を強化。 ・健康教育を実施 65・70歳高齢受給者証交付説明会での栄養講話(毎月1回) 運動・栄養教室(痩せる塾):14日/年、参加者数:13人 運動・栄養教室(栄養教室):2回/年、参加者数:25人 食生活改善推進による生活習慣病予防教室:2回、参加者数:52人 健康推進教室を実施 生活習慣病予防教室(健康カラダづくり):20日/年、参加者数:延べ157人(実人数31人) インボディ:15日/年、参加人数:延べ807人(新規196人) 運動教室(筋力アップ):40日/年、参加者数:延べ319人(実人数78人) <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康イベント(2回/年)…イオン、福祉まつり 	
	菊陽町	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のため、集団健診のオンライン申込を導入した。 ・土日や早朝の集団健診の実施、個別勧奨通知や未受診者への電話勧奨などで特定健診受診率向上を図った。 ・秋の集団検診でがん検診のみ申し込んでいる対象者に対して、特定健診の電話勧奨を実施した。 ・最後の集団健診である巡回特定健診の当日欠席者に医療機関特定健診の案内通知を実施した。 ・特定保健指導拒否者に対して、委託先から特定保健指導を受けよう案内し保健指導実施率の向上を図った。 ・人間ドック後の特定保健指導拒否者が多い医療機関と実施率向上に向けて協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、ホームページ、LINE、SNSを活用し、健診受診勧奨を行った。 ・土日や早朝の集団健診の実施、個別勧奨通知や未受診者への電話勧奨などで特定健診受診率向上を図った。 ・今年度から、秋の集団検診でがん検診のみ申し込んでいる特定健診対象者に対して、特定健診の電話勧奨を委託した。 ・特定保健指導拒否者に対して、特定保健指導を受けよう案内し保健指導実施率の向上を図った。 ・みなし健診の実施を行い受診率向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者に電話勧奨を行っているが、当日追加申し込み者は少なく、あまり結果につながっていない。 ・秋の集団検診でがん検診のみ申し込んでいる対象者に対して、特定健診の電話勧奨を委託したが、自前で電話勧奨を行った令和6年度に比べて効果がなかった。 ・R6年度巡回特定健診欠席者に医療機関特定健診の案内を実施したが、12月のため医療機関の繁忙期と重なり苦情があったため令和7年度は実施しなかった。その代替案として健診前にSMSで周知を行ったが、医療機関特定健診案内による受診者と比べると効果がなかった。
	熊本県菊池保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議や地域職域連携会議において特定健診、特定保健指導、がん健診の実施状況等情報共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域糖尿病対策・地域職域連携に係る市町担当者会議を開催(6月) 市町の実務者と圏域における糖尿病対策の取組みを共有し、糖尿病重症化予防連携体制の見直しを行った。 ・菊池地域職域連携会議を開催(3月予定) ・市町と企業の特定健診受診率や特定保健指導の実施率向上に向けた取組みを情報共有し、次年度に向けた取組みに関する意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率を向上させるための普及啓発の方法について、市町の実務者と具体的な検討ができた。 ・健診受診者のフォローや治療、療養指導が受けられる体制整備が必要であり、連絡受付台帳の活用等による医療保健の連携を推進する必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・菊池地域職域連携会議を通じ、関係機関の連携強化を図るとともに、各職域における健診受診の強化を進め、生活習慣病の発症予防・重症化予防・合併症予防のための支援体制づくりを進めます。</p>				
	菊池都市医師会	・市町行政から広報等による受診啓発依頼に対応協力するよう努力した。	・市町行政から広報等による受診啓発依頼に対応協力するよう努力する。	・特定健診、がん受診等の受診率向上に向けて協力体制を堅持している。
	菊池都市歯科医師会	・菊池地域歯科保健連絡協議会および研修会を開催した。	・菊池地域歯科保健連絡協議会および研修会の開催	・職域における歯科健診の啓発が必要
	菊池都市薬剤師会	・検診を行っている医療機関からの案内を患者に配布した。	・令和6年度事業を継続	・健診施設からの案内の配布など
	熊本県栄養士会菊池地域事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・SATシステムでの栄養相談を実施した。 8/18 菊池都市薬剤師会 薬と健康教室 10/6 菊池都市歯科医師会 歯とお口の健康展 11/10 菊池都市医師会立病院イベント ・出前講座を実施した。 1/12、27 大津町一体化事業 ・食育相談事業を実施した。 4箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・SATシステムでの栄養相談 10/19 菊池都市歯科医師会 歯とお口の健康展 11/23 菊池都市薬剤師会 薬と健康教室 ・出前講座 9/15、12/24 大津町一体化事業 ・食育相談事業 3箇所 	・栄養相談は子どもさんも多く、塩分や脂質の過剰の摂取も増えており野菜等への置き換えなど適時アドバイスを行った。SATシステムを通じ、食事のバランスを視覚的にも説明できる為に分かりやすいとの声は多く、今後も継続していきたい。
	熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部	・熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部として菊池地域職域連携会議へ参加していません	・要請があれば参加いたします。	・研修会への参加
	菊池市	・菊池地域職域連携会議に出席し、関係機関との連携を図った。更に、菊池市健康づくり推進協議会を4回/年開催し(計画策定に伴うもの)、関係団体との連携強化に取り組んだ。	・菊池市健康づくり推進協議会を開催し、関係団体と連携強化を図った。また、菊池地域職域連携会議に出席予定。	・会議を通じて関係機関の連携強化につながった。
	大津町	・地域、職域連携会議等を通じ、地域の健康課題や現状を関係者で共有した。	・地域、職域連携会議等を通じ、地域の健康課題や現状を関係者で共有	・今後も共有を図り継続して実施。
	菊陽町	・菊池地域職域連携会議を通じて、担当者間で顔合わせをし、次年度の連携強化のためのきっかけづくりを行った。	菊池地域職域連携会議を通して、関係機関と連携を図り、次年度の健診受診率向上のための取組に反映する予定。	・他の保険者と密な連携ができておらず、職域連携を基盤とした対象者へのアプローチができていない。
	熊本県菊池保健所	・菊池地域職域連携会議において、働き盛り世代の健康づくりをテーマに市町と企業の保健事業等の情報連携の取組みに向けた協議を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域糖尿病対策・地域職域連携に係る市町担当者会議を開催(6月) 市町実務者と地域職域連携による働き盛り世代の健康づくりの取組みを共有し、企業等への効果的な普及啓発の方法等を検討した。 ・企業や関係団体の訪問(10月、11月) 各機関の保健事業の取組みについて意見交換を行った。 ・菊池地域職域連携会議の開催(3月) 市町と企業における取組等を共有し、次年度に向けた働き盛り世代に対する連携した取組について、意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域職域の関係者間で、働き盛り世代に向けた健康づくりに関する保健事業等の取組み状況を共有し、連携した取組みについて意見交換ができた。 ・働き盛り世代に対して、保険者、企業とも連携を強化し、より効果的な普及啓発の実施が必要である。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(2) 医療機能の適切な分化と連携				
・ 将来の目指すべき医療提供体制の実現に向け、菊池地域医療構想調整会議において各種協議を行うとともに、病床機能の分化連携等に取り組みます。				
	菊池郡市医師会	・医療機能体制整備を図るため、菊池地域医療構想調整会議の議事進行に努め、より適正な病床等機能に取り組んだ。	・菊池地域の病床機能等の適正な体制に取り組むため、保健所と連携し地域の医療提供体制を構築した。	・菊池地域医療構想調整会議を通し、菊池地域の病床体制の在り方を検討する。
	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	・地域医療構想調整会議にて、医療関係者、保険者、市町村などで合意形成に向けた協議を行った。	・地域医療構想調整会議にて、医療関係者、保険者、市町村などで合意形成に向けた協議を行った。	
	熊本県菊池保健所	・ 菊池地域医療構想調整会議を2回(8月、3月)開催し、2025年に向けた地域医療構想の進め方等について協議を行った。	・ 菊池地域医療構想調整会議を3回(7月、12月、3月)開催し、菊池圏域における病床整備等について協議を行った。	・ 2025年に向けた地域医療構想の取組みが進んだ。 ・ 2040年に向けた新たな地域医療構想への取組を進める。
(3) 外来医療に係る医療提供体制の確保				
・ 菊池圏域で不足している外来医療機能とされている「初期救急(在宅当番医)」、「学校医」、「予防接種」、「産業医」、「在宅医療」の強化を目指して、一般診療所を新規開設する医師に協力意向を確認するとともに、菊池地域医療構想調整会議等で協議を行います。				
	菊池郡市医師会	・外来医療機能の更なる体制維持を図り、市町民への医療提供体制の強化に努力した。	・今後の在宅医療への更なる体制整備の必要性から、菊池在宅医療サポートセンター等において会員への参画を強化していく。	・ 会員入会時において、外来医療機能の各種説明を行い、新規会員への参画を依頼している。
	菊池市	・菊池地域医療構想調整会議等で協議を行った。	・菊池地域医療構想調整会議等で協議を行った。	-
	合志市	・菊池地域医療構想調整会議において医療関係者、保険者、市町村などで合意形成に向けた協議を行った。	-	-
	大津町	・休日の在宅当番医を菊池郡市医師会に委託した。町広報、ホームページで情報を掲載した。 ・新規開設する医師に嘱託医を依頼した。	・ 休日の在宅当番医を菊池郡市医師会に委託した。町広報、ホームページで情報を掲載した。 ・ 新規開設する医師に嘱託医を依頼した。	・今後も共有を図り継続して実施。
	菊陽町	・菊池地域医療構想調整会議に出席し、医療関係者、保険者、市町村などで合意形成に向けた協議を行った。	・菊池地域医療構想調整会議に出席し、医療関係者、保険者、市町村などで合意形成に向けた協議を行った。	・今後も左記取組を継続していく。
	熊本県菊池保健所	・一般診療所を新規開設する医師に協力意向の確認の実施及び菊池地域医療構想調整会議等で共有した。	・一般診療所を新規開設する医師に 協力意向の確認の実施及び菊池地域医療構想調整会議等で共有した。	・新規開設する医師に対して、外来医療機能への参画を検討する機会を設けることができた。
・ 外国人の外来受診の利便性向上と適切な受診を勧めるため、関係機関と連携し、受診方法の案内や多言語標記のホームページの周知等に取り組みます。				
	菊池郡市医師会	・外国人労働者等への適切な受診のため行政への協力を進めた。	・熊本県・熊本大学が進める「外国人労働者及び家族に対する医療提供体制に関する意見交換会」への参加依頼を受け、 医療機関の現状を把握するため会員へのアンケート調査を行い、困惑事項等について協議する。	・外国人に対する医療提供体制への状況把握ができたことで、各種サポートへの課題が見えてきた。よって、左記会議によりその実情改善を理解することができた。
	菊池市	・市役所窓口において、外国人向けの母子手帳や、予防接種の説明書を活用した。	・ 市役所窓口において、外国人向けの母子手帳や、予防接種の説明書を活用した。	・今後も継続して行っていく。
	大津町	・窓口でタブレットを活用して多言語対応を実施。	・ 庁内の多文化共生主管課と課題を共有し、受診方法等の案内や多言語表記での周知方法などを検討。	・具体的な取り組みについて方向性が定まっていないため、今後も主管課と連携して多文化共生に向けて検討を進める。
	菊陽町	-	・ 外国人労働者及び家族に対する医療提供体制整備を図るため、関係機関と意見交換を行った。	・今後も引き続き、外国人の外来受診の利便性向上と適切な受診を勧めるため、関係機関と連携した取組が必要。
	熊本県菊池保健所	・医療機関への立入検査時に、多言語対応ホームページ(医療情報ネットナビ)への登録内容を確認した。	・R6年度の実施を継続した。併せて医療機関における外国人患者の対応状況の把握を行った。	・今後も継続して行っていく。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(4) 糖尿病				
・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議において、菊池圏域の現状や課題を共有するとともに、関係機関が連携し、糖尿病の予防及び早期発見・支援体制の構築に取り組みます。				
	菊池都市医師会	・医師等を対象とした総合的ケアの習得を目的に学術講演会等を開催することに加え、より専門的な治療方針について多岐にわたる研修の準備を行った。	・医師等を対象としたケア習得を目的に学術講演会を開催することに加え、より専門的な治療方針についての研修を行い、医師をはじめとした医療技術の向上や関係者の連携体制にも取り組んだ。	・ 継続して、かかりつけ医と専門医等による連携体制構築のため研修会や講演会を開催していく。
	菊池都市歯科医師会	・各医療機関において糖尿病と歯周病の関連についてオンライン研修を実施した。	・「糖尿病診療ガイドライン2019」(抜粋)PDFを会員に配布し本会会員について再啓発	-
	菊池都市薬剤師会	・当該会議からの依頼に対して柔軟に対応することを決定した。	・会議からの依頼に対応	・保健師等の研修に講師を派遣
	菊池市	・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議に出席し、現状と課題を共有した。また、糖尿病腎症予防を目的とした訪問等の重症化予防事業を実施した。	・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議にて、本市の現状を報告し、各関係機関との連携を図った。また、令和6年度同様の重症化予防を実施している。	・糖尿病の治療を中断している人の割合(国保)が令和2年(12.6%)⇒令和5年(16%)と増加
	合志市	・令和6年11月21日に開催された本会議に出席し、医療関係者、関係機関団体、市町、保健所との協議を行った。	・令和7年12月4日に開催された本会議に出席し、医療関係者、関係機関団体、市町、保健所との協議を行った。	・関係機関で菊池圏域の糖尿病対策の取組と課題を共有することができた。また、菊池圏域糖尿病関係連絡台帳の活用策について協議をすることができた。
	大津町	・会議(菊池圏域糖尿病保健医療連携会議、保険者学習会等)への参加や医療機関訪問などにより、情報を共有し、保健医療体制の整備と連携を図った。	・会議(菊池圏域糖尿病保健医療連携会議、保険者学習会等)への参加や医療機関訪問などにより、情報を共有し、保健医療体制の整備と連携を図っている。	・医療機関との連携があまりできていないが、今後も共有を図り実施。
	菊陽町	・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議に出席し、糖尿病対策に係る現状と取組状況を共有し、保健と医療の糖尿病連携の推進についての協議を行った。	・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議に出席し、糖尿病対策に係る現状と取組状況を共有し、保健と医療の糖尿病連携の推進についての協議を行った。	・現状を共有できたことで、今後の糖尿病対策の参考となった。
	熊本県菊池保健所	・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面開催を見送っていた菊池圏域糖尿病保健医療連携会議を5年ぶりに実施。会議の中で、圏域での運用開始から10年を迎える「糖尿病関係連絡(受付)台帳」の方向性や活用策等の協議を行った。	・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議において、保健と医療の連携を推進するため、「 糖尿病連絡(受付)台帳 」の課題と 対応策、使い方の手順や様式等、活用促進のための協議 を行った。	・「糖尿病連絡(受付)台帳」の必要性を、関係者が共通理解のもと、取組みを継続する方向で認識の統一が図られた。併せて、活用促進のために、様式や手順等の見直しを行った。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・切れ目のない保健医療サービスを提供するため、菊池圏域糖尿病関係連絡台帳を活用して、医療機関と行政の連携を強化します。</p>				
	菊池都市医師会	・菊池圏域糖尿病関係連絡台帳の普及のため、 活用事例を医師のみでなく行政と各職種を含めて検討した。また、台帳の問題点を検討した。	・令和6年度の台帳普及の検討会からの問題点を解決すべく、台帳の改訂を行った。	・改訂した台帳の普及を目指す。また、活用上の問題を検討する。
	菊池都市歯科医師会	・菊池圏域糖尿病関係連絡台帳についての周知啓発を行った。	・菊池圏域糖尿病関係連絡台帳についての周知啓発	-
	菊池都市薬剤師会	・当該会議からの依頼に対して柔軟に対応することを決定した。	・会議からの依頼に対応	・お薬手帳や情報提供ツールの使い方について情報共有
	菊池市	・菊池圏域糖尿病連絡(受付)台帳を活用し、医療機関との連携を図った。	・菊池圏域糖尿病連絡(受付)台帳を活用し、医療機関との連携を図っている。	・個人情報の取り扱いが課題となっており、菊池保健所と引き続き検討していきたい。
	合志市	・市から医療機関への連絡が5件、医療機関から市への受付が4件だった。	・12月1日時点で、市から医療機関への連絡が4件、医療機関から市への受付が2件あった。	・ 連絡台帳を活用して医療機関と行政間で連携することができた。連絡台帳を活用できている医療機関が限定されていることが課題。
	大津町	-	-	・菊池圏域糖尿病関係連絡台帳の活用事例が少ない。
	菊陽町	・糖尿病連携手帳や、菊池圏域糖尿病連絡(受付)台帳等を活用し、医療機関と連携し保健指導を実施した。 ・町嘱託医会議、町嘱託歯科医会議を開催し、町の健康課題や町事業の検討、情報共有を行った。	・糖尿病連携手帳や、菊池圏域糖尿病連絡(受付)台帳等を活用し、医療機関と連携し保健指導を実施。 ・町嘱託医会議、町嘱託歯科医会議を開催し、町の健康課題や町事業の検討、情報共有を行った。	・菊池圏域糖尿病連絡台帳を活用し、 医療機関との密な連携を図ったことで、重度の糖尿病対象者の結果の改善につながった。
	熊本県菊池保健所	・「糖尿病連絡(受付)台帳」活用状況調査を実施し、結果を菊池圏域糖尿病保健医療連携会議で報告を行った。 ・菊池圏域糖尿病性腎症重症化予防連携体制図の情報を更新し関係機関へ配布を行った。 ・糖尿病ネットワーク研究会in菊池を開催し、「糖尿病連絡(受付)台帳」や熊友パスの活用をテーマに協議を行った。	・「糖尿病連絡(受付)台帳」活用状況調査の結果及び糖尿病性腎症重症化予防連携体制図の情報を更新し、菊池圏域糖尿病保健医療連携会議で報告を行った。 ・菊池圏域糖尿病保健医療連携会議開催前に、市町担当者会議を実施し、「糖尿病連絡(受付)台帳」に係る様式やチラシの検討を行った。	・医療機関における「糖尿病連絡(受付)台帳」の活用が図られるように、取組に賛同する医療機関と行政の窓口担当者の名簿作成や、使い方の手順等を再周知するとともに、賛同医療機関への訪問等により、活用を促す必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・糖尿病の早期発見、重症化・合併症予防を進めるため、住民への糖尿病に対する正しい知識の普及啓発や運動習慣の定着、栄養、食生活の改善に関する情報を提供します。</p>				
	菊池都市医師会	・糖尿病に対する治療や予防等に対する知識普及啓発のため、情報提供を行った。	・世界糖尿病デーに因んで菊池市へのイベントに医師会立病院が参加し、住民に対する糖尿病への理解や食生活改善等の情報活動を行った。	・イベントに参加された住民への知識向上のため、医師2名の指導により知識の普及啓発や情報提供を行った。
	菊池都市歯科医師会	・「歯とお口の健康展」を菊陽町にて開催した。(歯周病と生活習慣病、特に糖尿病との関連性について啓発)	・「歯とお口の健康展」を大津町にて開催(歯周病と生活習慣病、特に糖尿病との関連性について啓発)	・糖尿病と歯周病の関連について住民への更なる啓発が必要
	菊池都市薬剤師会	・市民講座等を通じて一般向けに啓発活動を実施した。	・令和6年度事業を継続	・市民講座の体験により参加者の意識向上
	熊本県栄養士会菊池地域事業部	・項目(1)に記載のイベント等を通して糖尿病の食事に対してのアドバイスをを行った。	・項目(1)に記載のイベント等を通して糖尿病の食事に対してのアドバイスをを行った。	・SATシステムでの栄養相談には多くの方が興味を持って参加いただいている。しかし、SNS等により間違った食事も多く、糖尿病になりやすい「朝食を抜く」「夜遅い時間に食事をする」「時間がなく)早食いになる」など聞かれた。健康的な食事の摂り方を改めて発信する必要があると感じた。
	菊池市	・HbA1c高値者に対し、訪問等で重症化予防訪問を実施した。また、運動教室の実施や広報へ記事掲載するなど普及啓発を行った。	・昨年度の実施に加え、『ヘルスマイト養成講座』において正しい知識の普及啓発を行い、専門職の力量向上を目的とした学習会を開催した。	・本市は糖尿病の割合が管内でも高いため、引き続き取り組んでいきたい。
	合志市	・国保の糖尿病管理台帳かつR6年年度健診未受診者への訪問を実施した。	・国保の糖尿病管理台帳かつ今年度健診未受診者への訪問 ・県国保ヘルスアップ事業に参加し、ICT(リブレ)を活用した糖尿病発症予防事業を実施した。令和7年8月から令和8年1月にかけて実施し、7名が参加した。 ・令和7年11月29日に糖尿病予防をテーマとした一般市民向けの健康づくり講演会を開催し、48名が参加した。	・装着が簡易な「FreeStyleリブレ2」を使用し、 個人の血糖値を可視化することで保健指導に活用する 。また、個人の生活習慣改善につなげることで 糖尿病の発症予防を図る 。
	大津町	・特定健診にてHbA1c6.5%以上の未治療者やHbA1c7.0%以上の治療中者に対して、保健指導を実施した。 ・健診及び特定保健指導委託先と必要時の連絡・連携体制をとる。健診については休日の実施、特定保健指導については個別予約と説明を行い、受けやすい環境を整え、受診率・実施率の向上に努めた。 ・住民向けの栄養教室を開催した。 ・健診結果説明会を実施した。	・特定健診にてHbA1c6.5%以上の未治療者やHbA1c7.0%以上の治療中者に対して、保健指導を実施する。 ・健診及び特定保健指導委託先と必要時の連絡・連携体制をとる。健診については休日の実施、特定保健指導については個別予約と説明を行い、受けやすい環境を整え、受診率・実施率の向上に努める。 ・住民向けの栄養教室の開催 ・健診結果説明会を実施する。	・特定健診後の説明会や栄養教室を開催しているが参加者が少ない。多くの方に参加してもらえる環境づくりを行う必要がある
	菊陽町	・特定健診結果でHbA1c6.5%~6.9%の未治療者及び7.0%以上又はBS126mg/dl以上の者に対し、訪問や電話等で保健指導を実施した。	・糖尿病台帳や特定健診結果でHbA1c6.5%以上又はBS126mg/dl以上の者に対し、訪問や電話等で保健指導を実施。 ・HbA1c7.0%以上の重症化予防訪問対象者の継続支援を実施予定。 ・HbA1c7.0%以上を受け持ったスタッフ間で、簡易的な事例検討会を実施。	・HbA1c6.5%以上の割合が増加傾向にある。
	熊本県菊池保健所	・くま食健康マイスター店(19店舗)やブルーサークルメニュー提供店(1店舗)のヘルシーメニューを通して、野菜の1日必要量等の食生活や、歩数計アプリ「くまもとスマートライフ」に関する情報発信を行った。 ・食育月間街頭キャンペーンを実施し、糖尿病予防の啓発を行った。	・くま食健康マイスター店やレベルアップメニュー(栄養成分表示)の指定に向けて、店舗を支援し、くま食健康マイスター店が新たに1店舗指定され20店舗となった。 ・くま食健康マイスター店等で提供するヘルシーメニューを通して、野菜の摂取増や減塩など食生活や糖尿病予防に関する情報発信を行った。 ・食育月間(6月)や野菜くまもり運動(野菜の日:8月31日、愛菜の日:1月31日)に併せて、糖尿病予防を啓発した。	・ スーパー等小売店を新たに啓発等取組みの連携先として加えたことで、住民への情報発信の機会が増大した 。 ・働き盛り世代の健康支援のため、市町や企業と連携し、ヘルシーメニューを提供する健康マイスター店(社員食堂のヘルシー化を含む)を拡大していく必要がある。

項目	団体	令和6年度の取組内容	令和7年度の取組内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(5) 精神疾患				
<p>・精神障がいがあっても安心して自分らしく暮らすことができるよう、①精神障がい者に対応した地域包括ケアシステムの構築、②地域移行支援関係者（行政・基幹相談支援センター・病院等）の連携体制の強化、③自殺対策の推進を目指した取組等を行い、地域移行の更なる促進や市町における精神保健医療福祉の関係機関が連携し重層的な支援体制構築を推進します。</p>				
	菊池有働病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援会議の継続実施した。 ・家族・社会福祉施設、行政等と地域移行に向けたカンファレンスなどを実施した。 ・医療保護入院における退院後生活環境相談員の7日以内の選任、選任後退院支援計画において他職種で本人の意向確認をし家族へ説明した。 ・相談支援事業所と連携した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した。 	-
	菊池病院	-	<ul style="list-style-type: none"> ①、②において、合志市と協議を実施した。 ①療養介護病棟にてレスパイト入院を実施した。 ②地域移行支援(会議)の継続実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①強度行動障害を有する方の卒業後の受け皿が無いため、入所が長期化している。当院でレスパイトの受け入れを開始したが、菊池圏域では、現在までに短期入所の支給決定が下りた実績がない。
	中山記念病院	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保護入院における、退院後生活環境相談員を選任した。選任後、本人・家族と共に、退院に向けた協議を行った。 ・本人・家族・関係機関合同の退院前カンファレンスを開催した。出席者と共に、退院に向けた協議を行った。 ・認知症支援について、合志市における認知症事業へ参加し、困難事例や個別相談に対応した。困難事例については、地域ケア会議へ出席し、会議後も連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保護入院における、退院後生活環境相談員を選任し、本人・家族と共に退院に向けた協議を行っている。 適宜、退院前カンファレンスを開催。ケースによっては、行政担当者にも出席していただき、退院後の生活について協議を進めた。 ・外来では、関係機関や行政担当者と連携を図り、在宅生活の継続に向けた、支援を行う。 ・認知症支援として、前年度同様、合志市における認知症事業へ参加し、本人・家族からの個別相談にも対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携により、本人や家族が安心して在宅・施設での生活を送ることができていると思う。 次年度以降も、現在までの活動を継続していく。地域移行支援については、ケースを上げることができていないため、次年度以降の課題としたい。
	菊陽病院	<ul style="list-style-type: none"> (1)長期入院者に対して以下の地域移行のアプローチを行った。 ・毎月1回病棟運営に関する会議にて5年以上の入院患者の退院に向けた話し合いを行った。 ・長期入院となっている患者に対し、退院支援委員会等で退院についての検討を行った。必要時家族にも来院いただき、病状説明や施設見学などのアプローチを行った。 (2)熊本県依存症治療拠点機関としてギャンブル等依存症の事例検討とシンポジウム形式の研修を開催した。 (3)菊陽町認知症初期集中支援チームのチーム員会議を菊陽町地域包括支援センターとともに行った。 (4)熊本県の精神担当の保健師が菊陽病院で「措置入院者退院後支援事業研修会」を実施した。救急病棟にて措置入院の受け入れを行っており、退院後の支援のついで連携強化のため、入院中の患者の様子や治療環境について2日間研修を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)長期入院者に対して以下の地域移行のアプローチを行った。 ・毎月1回病棟運営に関する会議にて5年以上の入院患者の退院に向けた話し合いを行った。 ・長期入院となっている患者に対し、退院支援委員会等で退院についての検討を行った。必要時家族にも来院いただき、病状説明や施設見学などのアプローチを行っている。 (2)熊本県依存症治療拠点機関3機関合同にて依存症研修を開催予定(令和8年1月)。 (3)菊陽町認知症初期集中支援チームのチーム員会議を菊陽町地域包括支援センターとともに行った。 (4)熊本県の精神担当の保健師が菊陽病院で「措置入院者退院後支援事業研修会」を実施した。救急病棟にて措置入院の受け入れを行っており、退院後の支援のついで連携強化のため、入院中の患者の様子や治療環境について2日間研修を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)5年以上入院患者の退院は令和6年度は3名、令和7年度は5名進めた。引き続き地域移行についてアプローチを行っていく。 (2)次年度も拠点病院として対応を行う。 (3)引き続き対応を行う。 (4)令和7年度は8名の保健師を受け入れた。引き続き依頼があれば対応を行う。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
	菊池圏域地域自立支援協議会	・精神障がいのある人が集まる場ができないか、協議。菊陽町の「にも包括」があることを共有協議会内で共有。	・精神科病院の相談員、看護師と訪問面談を2回実施。地域移行に関する、病院の現地把握。 ・菊池病院の移行支援会議に出席し、長期入院者の退院支援。 ・菊陽町の「にも包括ケア会議」「ワークショップ」に参加。	・長期入院者の移行支援について、今後取り組む共通認識を持つことができた。 ・「にも包括ケアシステム移行支援」に向けて実践の計画・検討。
	菊池地域精神保健希望の会	年に2回～3回程、家族会を行い、会員の体験・悩み・思いなどを発表してもらい、会員全員で考え、助言を行った。	講師を招き、遺言書の作成方法の勉強会・後見人制度の勉強会等を実施。	家族会で発表することにより、気持ちが楽になる。同じ境遇の方がいる事で一人で悩まずに済む。
	菊池市	【基幹相談支援センター】 ・特になし	【基幹相談支援センター】 ・基幹は、保健所、精神科病院(4病院)の地域連携室に訪問して連携深める予定 ・保健所主催の会議に参加予定。	【基幹相談支援センター】 ・病院と福祉の地域の認識が違うので、共有しすり合わせが必要である。
	合志市	・障がい者の相談支援体制の強化のため、合志市障がい者基幹相談支援センターの設置に向けた協議を実施した。	・合志市障がい者基幹相談支援センターを設置し、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築や地域移行支援関係機関との連携強化、重層的な支援体制整備の構築に向けた取組を実施予定	・病院等の関係機関と意見交換をすることで関係性の構築をすることが出来た。今後どのようにして連携体制を強化していくかが課題。
	大津町	・相談のあったケース等について、保健・福祉・介護等の関係者と支援のあり方について協議した。	・ケース対応について、精神保健福祉センターへ助言を求めたり、引きこもりのまなざし講座を開催している。	・支援体制、医療機関との連携の強化や、精神障害への理解促進が課題である。
	菊陽町	・精神障がいのある当事者、行政、委託相談支援事業者、精神科医療機関、就労支援事業者、社会福祉協議会等による協議の場を2か月に1回開催した。精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築のみならず、重層的支援体制整備のための協議体としても機能した。R7年2月、「ハッピーハートフェスティバル」を開催し、当事者体験発表や物品販売等を実施した。	・九州厚生局「地域共生社会推進賞」の市町村部門賞を受賞。R8年2月、「ハッピーハートワークショップ～おしゃべりカフェ～」を開催予定(精神障がい当事者との対話を起点として、地域の中での関わりや支え合いについて考えるための取組)。	・協議の運営自体に課題はないが、精神障がいのある方の抱える課題として、親亡き後の生活や相続問題、平日の夕方以降や土・日の過ごし方、交通手段の確保、身寄りがないことによる諸手続き(アパート契約等)の困難さなどが挙げられている。
	熊本県菊池保健所	・措置入院者の退院後支援事業を継続して実施し、退院後の支援を行うとともに、ケースを通して関係機関との連携強化を図った。また、菊池地域精神保健医療福祉連絡会及び自殺対策連絡会の中で、地域包括ケアシステムの構築に向けた協議を行った。 自殺対策に関しては、ゲートキーパー養成研修を5年ぶりに開催した。	・地域移行支援に関する課題について、医療機関等の関係機関にヒアリングを実施し、菊池地域精神保健医療福祉連絡会にて共有・協議を行った。また、前年度に引き続き、退院後支援事業の実施や精神相談の対応、ゲートキーパー養成研修を開催した。	・地域包括ケアシステムの構築や地域移行支援について、関係機関と継続的に協議ができている。また、ゲートキーパー養成研修を継続的に開催し、毎年、ゲートキーパーの講師養成に繋がっている。 引き続き、関係機関と協議を行い、取組を進めていく必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・精神障がい者への支援体制の構築や自殺対策を進めるため、菊池地域精神保健医療福祉連絡会及び自殺対策連絡会における関係機関との連携を強化します。</p>				
	菊池有働病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援会議の継続実施。 ・家族・社会福祉施設、行政等と地域移行に向けたカンファレンスなどを実施した。 ・医療保護入院における退院後生活環境相談員の7日以内の選任、選任後退院支援計画において他職種で本人の意向確認をし、家族へ説明した。 ・相談支援事業所と連携した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する。 	-
	中山記念病院	-	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域において開催される連絡会については、出席予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域における各連絡会には積極的に参加し、各関係機関との連携体制の強化を図りたい。
	菊陽病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成講座講師を派遣した。 ・年間通して夜間、休日の電話対応等を実施した。 ・熊本こころの電話相談養成講座の講師として精神保健福祉士が対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成講座講師を派遣した。 ・年間通して夜間、休日の電話対応等を実施している。 ・熊本こころの電話相談養成講座の講師として精神保健福祉士が対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施を行っていく。ゲートキーパー養成講座の研修の機会があれば職員の受講を進めていく。
	菊池市	<p>【基幹相談支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹スタッフ1名。ゲートキーパー研修に参加した。 	<p>【基幹相談支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹スタッフ1名。ゲートキーパー研修参加。 	-
	合志市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年12月に開催された連絡会に参加し関係機関との意見交換を通して連携の強化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後開催される連絡会に参加し関係機関との連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等の関係機関との意見交換を行った事で業務連携をすることが出来た。
	大津町	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会に参加し、担当課だけでなく関係課・関係機関や他市町との横のつながりづくりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会には担当課だけでなく、関係課や関係機関が参加する予定。また、連絡会での引継ぎ事項を次年度に向けてまとめる予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会への参加及び課題等の経年的な課題に取り組みに向けた共有を実施する。
	菊陽町	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市と「連携中枢都市圏SNSを活用したこころの悩み相談等業務委託契約に係る協定を締結し、相談支援体制の拡充を図った。R6年度は自殺対策補助金を活用し、精神保健福祉のつどいの中に講師を招き、自殺対策の内容を盛り込んだ講話を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市と「連携中枢都市圏SNSを活用したこころの悩み相談等業務委託契約に係る協定を締結し、相談支援体制の拡充を図っている。R8年1月、自殺対策計画(地域福祉計画に内包)の中間評価を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策計画(地域福祉計画)中間評価において、これまでの成果として「高齢者の生きがいづくりや生活困窮者支援」「SNS相談等を通じた相談機能の強化」などが挙げられた一方、課題としてゲートキーパー養成の未実施が挙げられた。今後はまず職員が養成研修を受講し、その必要性を地域住民へ発信していけるように取組を進めたい。
	熊本県菊池保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者レベルでの精神保健福祉担当者会議を初めて開催し、地域包括ケアシステムの構築や自殺対策の推進に向けた協議を行った。また、担当者会議の内容を踏まえて、菊池地域精神保健医療福祉連絡会及び自殺対策連絡会を開催し、「関係機関との連携」をテーマの一つとし、協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、精神保健福祉担当者会議を開催し、各機関の精神障がい者への支援体制の情報共有・意見交換を行った。また、菊池地域精神保健医療福祉連絡会において、にも包括にかかる圏域の課題整理や、支援体制・関係機関との連携について協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催により、具体的な現状・課題の共有ができ、関係者との連携強化にも繋がっている。今後も引き続き関係機関との連携を図り推進していく必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(6) 在宅医療				
・ 菊池地域在宅医療サポートセンターと連携し、提供側の医療機関等と受手側の住民の双方の在宅医療に関する理解を深める取組を進めます。				
	菊池都市医師会	・研修会の開催に加え、 くまもとメディカルネットワークを活用し、菊池都市の医師で構成する「菊池都市在宅ドクターネット」の連携強化を推進 した。在宅医療に関する情報共有の円滑化を図るとともに、かかりつけ医不在時の対応体制の準備を行った。	・ 急変時対応に向けた在宅ドクターネットの連携強化 やくまもとメディカルネットワークを活用した情報共有を進め、医療機関の体制を整備。 在宅医療の研修会の開催 に加え、 訪問診療に係る巡回指導を実施 し、在宅医療提供体制の質と適正化を強化していく。	・研修等を通じて医療機関への理解促進に努める一方、住民側には在宅医療の周知が十分ではない現状を踏まえ、今後は住民向け研修会の開催に向けた準備を進め、双方の理解深化を目指す。
	菊池都市歯科医師会	・熊本県歯科医師会主催の在宅歯科医療研修会への出席した。	・熊本県歯科医師会主催の 在宅歯科医療研修会への出席	-
	菊池都市薬剤師会	・各薬局で在宅医療を推進した。	・令和6年度事業を継続	・各薬局での在宅医療の増加
	熊本県歯科衛生士会菊池都市支部	・菊池地域在宅医療サポートセンターと連携し、提供側の医療機関等と受手側の住民の双方の在宅医療に関する理解を深める取り組みを進めた。	・継続して行った。	・研修会への参加
	菊池市		・住民への普及啓発のため、 映画上映会やエンディングノートの作成 、出前講座を実施した。	
	合志市		・高齢者サロンや老人クラブ等で 終活講座 を実施、その中でエンディングノートの啓発も行っている。 くまもとメディカルネットワークの窓口を設置 し、周知した。	
	大津町		・出前講座や通いの場・介護予防健診にて エンディングノートの普及啓発 を実施した。	・世代を問わず、在宅医療・ACPIに関する普及啓発活動を進める。
	菊陽町		・地域ふれあいサロン等の住民主体の通いの場や介護予防教室への出前講座の場を活用して、 地域包括支援センターの周知 を実施した。 ・地域ふれあいサロン等で、介護保険サービス等に関する講話を実施した。	・出前講座の場を利用した普及啓発を実施するうえで、内容の検討が必要。
	熊本県菊池保健所	・R6.11.7に菊池地域在宅医療連携体制検討会議を行い、住民代表を含め、関係団体等とともに、在宅医療連携体制構築に向け協議を実施した。	・R7.12.2に 菊池地域在宅医療連携体制検討会議 を行い、住民代表を含め、関係団体等とともに、在宅医療連携体制構築に向け協議を実施した。	・住民向けの啓発は市町が中心となって実施しているが、周知には課題がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・菊池地域在宅医療連携体制検討地域会議や在宅医療有志の会（仮称）を活用して圏域内の市町や医療・介護の関係団体等との連携強化に取り組むほか、地域の実情を踏まえ、圏域を越えた医療・介護関係者の連携を模索します。</p>				
	菊池郡市医師会	<p>・地域の実情や課題に即したテーマを設定し、在宅医療に携わる多職種を対象とした研修会を開催。研修を通じて関係職種の相互理解と情報共有を図り、日常的に協働しやすい「顔の見える関係」の構築を進めた。</p>	<p>・引き続き課題に即したテーマで多職種を対象とした研修会を開催するとともに、市町との積極的な交流を進め、自治体とより広く持続的な関係性の形成を目指す方針で進めていく。</p>	<p>・熊本市に隣接していることから、在宅訪問診療を市に依存している現状がある。可能な限り自圏域内で完結できる在宅医療体制の構築を目標とし、地域資源の育成と連携の強化をさらに進めていく必要がある。</p>
	菊池郡市歯科医師会	<p>・きくち圏域みんなの在宅ネットワークへの参画・在宅歯科医療研修会の開催した。</p>	<p>・きくち圏域みんなの在宅ネットワークへの参画・在宅歯科医療研修会の開催</p>	-
	菊池郡市薬剤師会	<p>・各会への参加と情報共有を行った。</p>	<p>・地域医薬品提供体制構築事業の推進</p>	<p>・多職種による研修や連携のための窓口の設置</p>
	熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部	<p>・菊池地域在宅医療連携体制検討地域会議を活用して、圏域内の市町や医療・介護の関係団体等と連携強化に取り組むほか地域の実情を踏まえ、県域を越えた医療・介護関係者の連携を模索した。</p>	<p>・継続して行った。</p>	<p>・研修会への参加</p>
	菊池市	-	<p>・菊池郡市医師会・保健所・菊池圏域4市町合同の事例検討会実施した。(令和8年2月2日)</p>	<p>・地域包括ケアシステム充実に向けた研修の実施内容の検討を進める。</p>
	合志市	-	<p>・菊池郡市医師会・保健所・菊池圏域4市町合同の事例検討会実施した。(令和8年2月2日)</p>	
	大津町	-	<p>・町で「ユマニチュード」について他職種研修を実施。 ・菊池郡市医師会・保健所・菊池圏域4市町合同の事例検討会実施した。(令和8年2月2日)</p>	<p>・町の状況に合わせて、他職種研修のテーマを検討する。</p>
	菊陽町	-	<p>・認知症事例多職種合同研修会の実施した。 ・町内の病院や居宅介護支援事業所ケアマネとの意見交換会の実施した。 ・菊池郡市医師会・保健所・菊池圏域4市町合同の事例検討会実施した。(令和8年2月2日)</p>	-
	熊本県菊池保健所	<p>・菊池地域在宅医療連携体制検討会議を行うとともに、管内市町担当、医師会と、「菊池地域における入退院支援ガイドブック」の更新を行い、管内市町のホームページ等により、広く周知し、医療・介護関係者の連携強化に努めた。</p>	<p>・菊池地域在宅医療連携体制検討会議を行うとともに、菊池郡市医師会主催の「人生会議」をテーマとした事例検討会に、市町及び保健所も参画し、圏域内の市町、医療・介護の関係団体等との連携強化に取り組んだ。また、管内の訪問看護事業所一覧を作成し、圏域外も含め、訪問看護事業所情報の共有に努めた。</p>	<p>・検討会議は定例化しているものの、圏域を越えた医療・介護関係者の連携には課題がある。</p>

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(7) 救急医療				
・ 菊池地域保健医療推進協議会救急医療専門部会や菊池地域メディカルコントロール協議会等において、病院群輪番制の支援や救急告示病院の認定、救急搬送・受入れ体制の情報共有等を行うことにより、救急医療体制の維持・強化に取り組みます。				
	菊池郡市医師会	・初期救急となる在宅当番医・病院群輪番制病院・二次救急医療機関の各事業への計画支援を継続して行う。	・各救急医療を目的とした会合へ参加するとともに、夜間・休日に対する菊池圏域住民への医療提供を行う。	・在宅当番医の年間計画を作成し、夜間・休日の診療体制を整備した。
	菊池郡市歯科医師会	・救急救命研修会(講師:菊池北消防署)の開催	・救急救命研修会(講師:菊池北消防署)の開催	-
	菊池郡市薬剤師会	・輪番制休日当番の実施	・令和6年度事業を継続	・年末年始など患者が急増した場合に備え臨時的開局制度を設立
	菊池広域連合消防本部	・救急法の講習会、#7119の啓発、熱中症の予防啓発など実施し適正利用を呼びかけた。	・適正利用だけでなく、各医療機関から当直医の情報を提供していただき、迅速で的確な医療選定、搬送を実施した。	・適正利用だけでなく、今年度から運用開始になったDNARプロトコルの啓発も行っていきたい。
	菊池市	・日曜、祝日において、小児科・内科・外科、その他診療科各1医療機関が休日在宅当番医として対応。 菊池地域二次医療圏病院群輪番制運営事業にて、7医療機関にて医療体制を確保できた。	・日曜、祝日において、小児科・内科・外科、その他診療科各1医療機関が休日在宅当番医として対応。 菊池地域二次医療圏病院群輪番制運営事業にて、7医療機関にて医療体制を確保する。	・在宅当番医制や病院群輪番制等により、救急搬送・受入れ体制を強化することができた。
	合志市	・病院群輪番制病院運営事業を菊池管内7医療機関の協力を得て、2市2町で実施	-	-
	菊陽町	・休日の在宅当番医を菊池郡市医師会に委託し、町の広報誌・ホームページに休日当番医・薬局の情報を掲載。 ・菊池地域二次救急医療圏病院群輪番制運営事業を菊池管内7医療機関の協力を得て、2市2町で実施。	・休日の在宅当番医を菊池郡市医師会に委託し、町の広報誌・ホームページに休日当番医・薬局の情報を掲載。 ・菊池地域二次救急医療圏病院群輪番制運営事業を菊池管内6医療機関の協力を得て、2市2町で実施。	・今後も左記取組を継続していく。
	熊本県菊池保健所	・菊池地域保健医療推進協議会救急医療専門部会を実施した。(第1回R6.10.7、第2回R7.2.19)	・菊池地域保健医療推進協議会救急医療専門部会を2回実施。(第1回R7.7.29、第2回R8.1.26)	・救急医療体制の維持・強化に向け、救急告示病院の認定、病院群輪番制や救急搬送・受け入れ体制の情報共有、協議が行えた。 ・休日夜間の救急搬送について、圏域外の病院に搬送するケースが変わらずある。また、病院の休止等により病院群輪番制を担う病院が減少しており、今後の救急医療体制の維持・強化に影響を及ぼす可能性があることが課題。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(8) 災害医療				
<p>・菊池圏域内の全ての病院でBCPを作成し、BCPに基づく研修や訓練を実施できるよう助言や指導を行うとともに、災害拠点病院と連携し、災害時を想定して情報共有システムを用いた情報伝達訓練を実施すること等により、災害時における医療提供体制の構築を進めます。</p>				
	菊池郡市医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP作成への情報支援を行う。また、災害時の現地への支援体制について情報共有し、出動グループを継続して策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域でのBCP研修等の計画を進めていく。
	菊池郡市歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害歯科保健医療研修強化事業(意見交換会)への参加 菊池地域災害保健医療会議への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時連絡網の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時に必要な口腔ケア用品(歯ブラシ、洗口剤等)の備蓄
	菊池郡市薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害薬事コーディネーターの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・3名を熊本県薬剤師会に登録
	熊本セントラル病院	<ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院として確立するために偶数月に1回、災害対策委員会開催、BCP班、訓練班、DMAT班に分かれて班での進捗状況、これからの課題等を確認した。 ・広域災害・緊急医療情報システムEMISに関する研修に参加した。(熊本大学)(保健所主催) ・毎月1回実施の衛星電話伝達訓練に参加した。 ・11月長崎県にて行われた大規模災害実動訓練に当院DMAT隊員の参加した。 ・12月BCP改訂に基づき多数傷病者・災害対策本部設置等訓練の実施した。 ・菊陽町災害フェスタDMAT隊員訓練に参加した。 ・12月の多数傷病者等訓練後、BCPの修正追記を行った。 ・自己研鑽研修において、災害カルテの記載要領、1次トリアージ要領、2次トリアージ要領、スタート法要領、ラインワークスの活用方法等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域災害・緊急医療情報システム新EMISに関する研修会の参加「10/16セントラル病院、11/18保健所」 ・偶数月1回、災害対策委員会の実施 ・6月安否確認システムの更新、毎月1回全職員に対して安否確認、入力訓練実施 ・7～11月 月1回実施の第5回多職種連携人材養成講座に当院職員多数参加(熊本大学主催) ・11月大分県にて行われた大規模災害実動訓練に当院DMAT隊員参加 ・毎月1回実施の衛星電話伝達訓練への参加 ・6月の多数傷病等訓練後、BCPの修正追記 ・6月、12月当院における多数傷病者及び災害対策本部設置等訓練の実施 ・8/20電子カルテ停止時の初動訓練実施(経営企画課システム担当) ・菊陽町災害フェスタ、DMATカー等展示 ・熊本赤十字病院における多数傷病者訓練見学 ・熊本空港SCU展開訓練参加 ・自己研鑽研修において、PAT法の要領、災害カルテの運用方法、情報伝達クロナロノ記載要領等を実施 ・12月多数傷病者訓練後のBCP修正追記予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果としては、年2回の災害対応訓練が実施でき、それに伴い、様々な課題が揚げられ、検討し修正等実施するなどブラッシュアップに繋がった。 ・各職員が訓練等を通じて新たに災害指定病院としての役割を再認識することが出来た。 ・課題としては、時間外、休日等における初動体制の確保である。(体制が弱く仮災害対策本部で機能するのか)

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
	菊池広域連合消防本部	・保健所と感染症指定医療機関の熊本再春医療センターとの合同訓練を実施した。	・昨年度同様、保健所と訓練を実施することができた。また、 <u>地域災害拠点病院の熊本セントラル病院にて定期的にワークステーションを実施。</u>	・ <u>災害拠点病院と普段から顔の見える関係が構築されることで、有事の際にも迅速な活動が期待できる。</u>
	菊池市	・地域防災計画及び課災害対応マニュアルの見直しを行った。 ・EMISの研修に参加した。	・地域防災計画及び課災害対応マニュアルの見直しを行う。	・継続して災害対応マニュアルの見直し及びスタッフとの共有を図る。また、保健所や医師会と連携し、災害時の医療体制の整備を図る。
	合志市	・防災計画の内容確認を行った。	-	-
	大津町	・菊池地域災害保健医療対策会議において、医療関係者、保険者、市町村などで災害発生時の保健医療提供体制の整備に係る協議等を実施。	・R5.4.1に災害拠点病院の指定を受けた熊本セントラル病院と、災害時における連携等について、町の防災担当部局と共に協議。今後、町の防災訓練に熊本セントラル病院としての参画を検討。	・具体的な防災訓練への参画について、今後、防災担当部局と協議を進める。
	菊陽町	・EMIS(広域災害・救急医療情報システム)の登録を行い、保健師間でシステムの操作確認を行った。	・町地域防災計画や町業務継続計画(BCP)の内容確認を行い、見直しを行った。 ・EMIS(広域災害・救急医療情報システム)の登録を行い、保健師間でシステムの操作確認を行った。	・町内に災害拠点病院があるが、災害拠点病院を中心とした連携体制の構築までには至っていない。今後は、連携体制の整備、具体的な役割を明確にするなどの取組が必要。
	熊本県菊池保健所	・医療法第25条に基づく立入検査の際に、BCP策定状況等について確認し、必要に応じて助言や指導を実施。 ・災害拠点病院である熊本セントラル病院と連携し医療機関向けEMIS入力操作研修会を実施。	・ <u>医療法第25条に基づく立入検査の際に、BCP策定状況等について確認し、必要に応じて助言や指導を実施。</u> ・ <u>災害拠点病院である熊本セントラル病院と連携し医療機関向けEMIS入力操作研修会を実施。</u>	・ <u>菊池圏域内の16病院中15病院がBCPを作成。新たに作成をした病院が以前より増加した。また、既に作成していた病院については内容を更に充実させる等の取り組みを実施している。今後も継続して助言や指導を行っていく。</u> ・ <u>今年度よりEMISシステムが新しくなり、操作方法も変わったため、今後も継続して研修会等を実施していく必要がある。</u>

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(9) 歯科保健医療対策				
・ 幼児期や学齢期において、市町や学校等と連携し、歯科検診・歯科保健指導の充実やフッ化物応用（洗口、塗布）の実施等によるむし歯予防の取組を推進します。				
	菊池郡市歯科医師会	・「歯とお口の健康展」を菊陽町にて開催した。 学校歯科研修会の開催	・「歯とお口の健康展」を大津町にて開催した。 菊池地域歯科保健連絡協議会研修会にてフッ化物洗口について研修	・ 現場の負担感の解決、フッ化物応用の精度(回数等)が課題。
	菊池郡市薬剤師会	・フッ化物洗口について学校薬剤師が対応できるよう研修した。	・令和6年度事業を継続した。	・学校の負担が大きいという意見もあるので、その際は学校薬剤師に相談を
	熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部	・幼稚園・保育園・小学校中学校の歯科保健指導の際これに取り組んだ。	・本年度も依頼を受けて継続して行った。	・各年代に応じた歯科保健指導を行い歯・口腔の健康に感心を持つ機会となるように努めました。 ・研修会への参加・人員不足が課題となっております。
	菊池市	・乳幼児健診時に歯科衛生士による個別指導、歯科健診、フッ化物塗布を実施。市内22園、10校でフッ化物洗口を実施した。	・昨年度同様、乳幼児健診時に歯科衛生士による個別指導、歯科健診、フッ化物塗布を実施。市内22園、10校でフッ化物洗口を実施した。	・R6は、3歳児及び小学3年生のむし歯有病率が減少。今後も引き続き、フッ化物洗口、塗布を行う。
	合志市	・幼児期(市内18園)・学齢期(市内全て)でのフッ化物洗口を実施した。1歳児を対象にフッ化物塗布券を配布した。10月より塗布券の対象年齢を2歳児までに延長した。	・フッ化物洗口及び塗布券の配布を継続して実施した。令和7年4月より、1歳6か月健診会場で希望者にフッ化物塗布を再開した。フッ化物洗口未実施園へ訪問し、ヒアリングを行なった。	・健診会場でのフッ化物塗布受診者282名。(12月末実績) 健診会場での歯科指導を充実させ、むし歯予防の取組を推進していく。
	大津町	・希望園・小中学校においてフッ化物洗口を実施した。 ・1歳セミナー・1歳6か月健診・3歳児健診時に希望者に対してフッ化物塗布を実施した。 ・乳幼児健診において歯科健診・個別歯科指導を実施した。(7か月健診は個別歯科指導のみ) ・むし歯予防について、乳幼児健診・相談時に個別指導も実施した。	・希望園・小中学校においてフッ化物洗口の実施した。 ・1歳6か月健診・3歳児健診時に希望者に対してフッ化物塗布を実施した。 ・むし歯予防について、乳幼児健診・相談時に個別指導も実施した。	・フッ化物洗口実施率:園 76.9% 学校 100% 今後も共有を図り継続して実施。
	菊陽町	・乳幼児健診や育児相談会、子育て支援センター等で歯科保健指導を実施した。 ・町内保育園・認定こども園のうち希望のあった園において2回/年歯科講話を実施した。 ・1歳児セミナー(育児相談会)、1歳6か月健診で希望者に対してフッ化物塗布を実施した。また、委託歯科医療機関(22医療機関)に満2歳児に対するフッ素塗布を委託し、満2歳の間に無料で3回フッ化物塗布を実施した。 ・町内保育園・認定こども園、小・中学校においてフッ化物洗口事業を実施した。 町内保育園・認定こども園では16園中15園が実施。 小・中学校は全校で実施。 フッ化物洗口事業について教育委員会と検討及び校長会・養護部会で報告。 ・嘱託歯科医会議を実施(1回/年)し、町の歯科保健の現状や取り組みについて報告した。	・乳幼児健診や育児相談会、子育て支援センター等で歯科保健指導を実施した。 ・町内保育園・認定こども園のうち希望のあった園において2回/年歯科講話を実施した。 ・「菊陽町フッ化物塗布受診券」を作成し満1歳児、1歳6か月児、満2歳児を対象にフッ化物塗布を実施した。 満1歳児で1回、満2歳児で3回、委託歯科医療機関で無料でフッ化物塗布を実施。 ・町内保育園・認定こども園、小・中学校においてフッ化物洗口事業を実施した。 町内保育園・認定こども園では17園中15園が実施。 小・中学校では全校で実施。 フッ化物洗口事業について教育委員会と検討及び校長会・養護部会で報告。 ・嘱託歯科医会議を実施(1回/年)し、町の歯科保健の現状や取り組みについて報告した。	・乳幼児健診や育児相談会、子育て支援センターにおいて個別に歯科指導を行ったことで、対象者のニーズにあった指導を実施することができた。 ・「菊陽町フッ化物塗布受診券」を作成したことで、対象者すべてにフッ化物塗布の機会を設けることができた。 ・1歳6か月児のむし歯有病者率が全国及び県平均より高く、前年度より増加傾向にある。また12歳児のむし歯有病者率は前年度より減少傾向にあるが全国及び県平均より依然として高く推移している。 ・ むし歯予防対策として実施しているフッ化物洗口は実施者・実施回数が減少しており効果的なむし歯予防に繋がっていない。保育園・認定こども園、小・中学校と密に連携を図り改善に向けて取り組んでいく必要がある。
	熊本県菊池保健所	・菊池地域歯科保健連絡協議会にて、フッ化物応用(塗布、洗口)の実施状況を共有し、より効果的な実施に向けた検討を行った。	・乳幼児や学齢期のむし歯の現状や、フッ化物洗口の実施回数及び実施体制の詳細を含む洗口にかかる現状を、菊池地域歯科保健連絡協議会にて共有し、より効果的な実施に向けて検討を行った。併せて、 菊池地域歯科保健研修会を開催し、フッ化物洗口の効果や意義等について、保育、学校関係者を中心に周知啓発を行った。	・むし歯予防対策について、実施状況を把握し、それを踏まえて、今後の取組の検討を行うことができた。また、関係者へフッ化物洗口の周知啓発ができた。 ・今後も、より効果的なむし歯予防の取組や、それに伴う連携体制の構築について検討を行っていく必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・むし歯・歯周病に関する予防・早期発見・早期治療を進めるため、ライフステージに応じた歯科口腔に対する正しい知識の普及・啓発を行います。</p>				
	菊池郡市歯科医師会	・「歯とお口の健康展」を菊陽町にて開催した。	・「歯とお口の健康展」を大津町にて開催した。 菊池地域歯科保健連絡協議会研修会にてフッ化物洗口について研修	・働く世代への歯科検診の充実、高齢者の口腔機能低下症予防啓発が大きな課題。
	菊池郡市薬剤師会	・薬局において口腔ケアが必要な患者(骨粗鬆症、糖尿病、認知症等)に歯科受診を促した。	・令和6年度事業を継続した。	・薬剤の適正使用に繋がっている。
	熊本県歯科衛生士会菊池郡支部	・地域の健康イベントへの参加、健康教室での講話、菊池郡市歯科医師会主催の歯とお口の健康展への協力を通して、様々な年代の対象者に向けての歯科保健指導を行った。	・継続して行った。	・地域住民の歯と口腔の健康への関心は高まっていると感じている。 ・研修会へ参加し人材育成を行う。
	菊池市	・子育て支援センターや保育園、公民館講座で出前講座を実施した。それぞれのライフステージに合わせた講話を行った。	・子育て支援センター、企業の依頼にあわせて講話を実施した。ライフステージに応じた正しい知識の普及・啓発を行った。	・依頼に応じて出前講座を8回実施。
	合志市	・幼児期では歯科衛生士による歯の講話、フォローアップ指導を実施した。妊娠期では歯の健康についての指導を行った。母子手帳交付時に妊婦歯科健診の受診券及び県のリーフレットを配布した。 ・歯周疾患検診対象者4,538名への受診券発送時に、歯周病予防に関する啓発資料も送付した。 ・後期高齢者への健診等の案内送付時に、歯科口腔健診の案内とオーラルフレイルに関する啓発資料も送付した。	・ライフステージに合わせて知識の普及・啓発を継続して実施した。	・歯の講話9園、フォローアップ指導20園実施。今後も継続して、フッ素の効果について知識の普及を行なう。
	大津町	・母子健康手帳交付時に妊娠期の歯・口腔の健康について指導した。無料で妊婦歯科健診を通年で実施し、受診勧奨を行った。 ・乳幼児健診において歯科健診・個別歯科指導を実施した。(7か月健診は個別歯科指導のみ) ・20～70歳の10歳刻みの節目の時期に歯周疾患検診を実施した。	・乳幼児健診において歯科指導の実施した。 ・20～70歳の10歳刻みの節目の時期に歯周疾患検診を実施した。	・歯周疾患検診受診率が低い:4.5%(R7)
	菊陽町	・歯周疾患対象者へ個別通知を実施した。 ・広報誌、ホームページ、LINEにて歯周疾患検診受診勧奨を行った。 ・歯周疾患検診未受診者に対し、はがきによる再受診勧奨を行った。	・歯周疾患対象者へ個別通知を実施した。 ・歯周疾患検診未受診者に対し、はがきによる再受診勧奨を行った。 ・広報誌を活用し、合併症も含めた歯周病や、歯周疾患検診の重要性についての啓発を行った。 ・ホームページ、LINEにて歯周疾患検診受診勧奨を行った。	・R6年度の受診率が例年より約2%下がった。R7年度はR6年度同時期より増加しているが、例年より低い受診率となる見込み。
	熊本県菊池保健所	・菊池郡市歯科医師会主催の「歯とお口の健康展」に出展し、むし歯や歯周病予防に関するパンフレットの配布やポスター掲示による、住民への啓発を行った。	・菊池郡市歯科医師会主催の「歯とお口の健康展」に出展し、むし歯や歯周病予防に関するパンフレットの配布やポスター掲示による、住民への啓発を行った。 ・また、食生活改善推進員(研修会及び養成講座)に対する出前講座を実施し、歯と食とのつながりや、成人・高齢期の歯周病予防等の知識の普及啓発を行った。	・各種イベントや出前講座等を通して、住民への歯科に関する情報提供や啓発を行うことができた。 ・引き続き、イベント等のあらゆる機会に、住民への歯科に関する啓発を積極的に行っていく必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・年齢や心身の状況に応じた歯科口腔に係る良好な保健医療サービスの提供や歯科検診の受診率向上につなげるため、菊池地域歯科保健連絡協議会等において菊池圏域の歯科の現状を共有するとともに、関係機関の連携体制を強化します。</p>				
	菊池郡市歯科医師会	・菊池地域歯科保健連絡協議会の開催した。	・菊池地域歯科保健連絡協議会の開催した。	・働く世代への歯科検診の充実、高齢者の口腔機能低下症予防啓発が大きな課題
	菊池郡市薬剤師会	・熊本県歯科医師会から依頼のあった歯科健診の案内を薬局で配布した。	・令和6年度事業を継続した。	・依頼があれば薬局での案内は可能
	熊本県歯科衛生士会菊池郡市支部	・菊池地域歯科保健連絡協議会において県や市町からの報告を受け、地域の課題を把握し、各団体との連携や協力体制を模索しこれに取り組んだ。	・継続して行った。	・多職種連携の研修会への参加・様々な立場からの意見交換が、相互の理解や課題解決につながると考える。
	菊池市	・菊池地域歯科保健連絡協議会及び菊池市歯科保健事業検討会で現状について共有・検討を行った。	・菊池地域歯科保健連絡協議会及び菊池市歯科保健事業検討会で現状について共有・検討を行った。検討会では、歯周疾患検診の受診率向上に向け、集団検診の体制について検討した。	・ 歯周疾患検診の受診率向上が課題 である。受診率向上のため、今後の働きかけについて検討していく。
	合志市	・合志市歯科保健連絡協議会を実施。行政、歯科医師会、歯科衛生士会、学校、保育園と情報共有を図った。	・ 8月に合志市歯科保健連絡協議会を実施。関係機関と情報共有を行ない、市の課題が共有出来た。	・関係機関との意見交換を行い、連携体制の強化が出来た。
	大津町	・R7年度から歯科保健連絡協議会の開催に向け、歯科医師会と2回打合せを実施した。	・歯科保健連絡協議会を初めて開催し、嘱託歯科医と現状を共有した。	・歯科保健連絡協議会を開催し現状を共有することができた。受診率向上に向け歯科健診の案内など周知方法等の検討が必要。
	菊陽町	・オーラルフレイルや歯科口腔健康診査に関する普及啓発を地域ふれあいサロン等の出前講座の際に実施した。 (R6年度実績:18地区292人)	・オーラルフレイルや歯科口腔健康診査に関する普及啓発を地域ふれあいサロン等の出前講座の際に実施した。 (R7年12月1日時点実績:13地区207人)	・今後も左記取組を継続していく。
	熊本県菊池保健所	・菊池地域歯科保健連絡協議会を開催し、圏域の現状の共有や、課題を踏まえた今後の取組の方向性について協議を行った。	・管内市町における歯科検診の受診率や、受診勧奨等の取組について、菊池地域歯科保健連絡協議会にて、情報の共有と今後の取組内容、関係機関との連携体制等について協議を行った。	・管内市町の歯科検診の実施方法等を共有し、成人期や高齢期における啓発の必要性を共有した。 引き続き、協議会の開催により、関係機関との連携を図り、情報共有や効果的な取組に向けた協議・検討を行う必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
(10) 健康危機管理に関する体制 (新興感染症含む)				
・ 医療機関、行政等の関係者で構成する会議等を開催し、新興感染症等発生時における保健医療福祉の連携・協力体制を強化します。				
	菊池都市医師会	・新興感染症等発生時の協力体制について、保健所や自治体と連携した。	・前年同様	・二類感染症指定医療機関との連携体制を保健所の指導の下構築していく取組みが必要。
	菊池都市薬剤師会	・第二種協定指定医療機関への登録した。	・令和6年度事業を継続	・抗ウイルス薬や検査キットなどの備蓄
	熊本セントラル病院	・感染対策向上加算連携カンファレンスに参加した。(熊本市保健所含む)2024/5/28,9/17,2/3 2025/2/4	・感染対策向上加算連携カンファレンス年4回参加(熊本市保健所含む) くまもと森都総合病院で開催 2025 6/24 10/23 12/10 2026.2開催予定	-
	菊池市	・県や保健所との情報共有を行った。	・会議等開催はできなかったが、県や保健所との情報共有を行った。	・継続して情報共有を行っていく。
	大津町	・菊池保健所管内における関係者会議や菊池都市保健協議会の会議へ参画し、圏域間での健康危機管理に関する連携・協力体制を構築した。	・引き続き、関係機関との連携・協力体制を強化するとともに、新型インフルエンザ等対策行動計画についても圏域市町と協議のうえ改定する。	
	熊本県菊池保健所	・菊池地域健康危機管理推進会議を実施した。(第1回R6.10.7、第2回R7.2.19)	・菊池地域健康危機管理推進会議を2回実施。(第1回R7.7.29、第2回R8.1.26)	・健康危機管理に関する情報共有、健康危機発生時の体制の確認が行えた。
・ 健康危機対処計画 (感染症編) を着実に進めます。				
	菊池都市医師会	・保健所の指導・計画に協力した。	・前年同様	・健康危機対処計画(感染症編)の協力内容についての保健所からの情報提供を確認していく。
	菊池都市薬剤師会	・第二種協定指定医療機関として必要な対応を実施した。	・令和6年度事業を継続	・感染者対応のための必要な備品の備蓄
	熊本セントラル病院	・感染対策向上加算連携カンファレンスに参加した。(熊本市保健所含む)2024/5/28,9/17,12/3 2025/2/4	・感染対策向上加算連携カンファレンス年4回参加(熊本市保健所含む) くまもと森都総合病院で開催 2025 6/24 10/23 12/10 2026.2開催予定	-
	菊池市	・県や医師会、保健所と情報共有を図った。	・県や医師会、保健所と情報共有を図った。	・継続して、県や医師会、保健所と情報共有を図っていく。
	合志市	・取組なし	・市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定	・有事の際に、効果的かつ効率的な体制整備ができるよう平時からの取組の充実を図る必要がある。
	大津町	・BCP計画に基づき、庁内防疫体制の維持に努めた。	・県の計画との整合性を図りつつ、大津町における対応マニュアルの実効性を高めるための運用・管理を着実に進める。	-
	菊陽町	・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、政府行動計画及び県行動計画改定の進捗状況の確認を行った。	・政府行動計画及び県行動計画に基づき、町新型インフルエンザ等対策行動計画を改定予定。	・庁内体制の部分については、毎年、行動計画の見直しが必要。 ・行動計画策定後、新型インフルエンザ等対策業務継続計画(BCP)を策定する必要がある。
	熊本県菊池保健所	・健康危機対処計画(感染症編)を策定。策定した計画について、上記会議等で関係者と共有した。	・本庁や関係機関と連携して、体制整備に向けた協議やBCPの見直し、感染症対策物資の備蓄推進等計画に基づいた、平時における準備を進めた。	・今後も、計画について関係機関へ周知、共有するとともに、必要な準備を進めていく必要がある。

項目	団体	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容 (年度内予定含む)	成果及び課題等
<p>・ 新興感染症等発生時における患者への対応能力を向上させるため、関係機関との研修・訓練等を定期的に行います。</p>				
	菊池都市医師会	・保健所の指導・計画に協力した。	・前年同様	・保健所からの情報提供を確認していく。
	菊池都市歯科医師会	・各歯科医療機関においてオンライン研修(必須)を実施した。	・各歯科医療機関においてオンライン研修	-
	菊池都市薬剤師会	・第二種協定指定医療機関として必要な研修等を実施した。	・令和6年度事業を継続	・指定された研修の実施とスタッフ間の情報共有
	熊本セントラル病院	・感染対策向上加算連携カンファレンス合同訓練(新興・再興感染症を想定した机上訓練)を行った。2024/12/3 ・菊池保健所主催(二類感染症疑い患者発生時の対応訓練)に参加した。2025/3/5	・感染対策向上加算連携カンファレンス合同訓練 2025.12.10(くまもと森都総合病院)PPE着脱訓練 ・菊池保健所主催 2025.12.19(再春医療センター) 二類感染症疑い患者発生時の対応訓練	-
	大津町	・各種研修会や勉強会へ参加し、最新知見の習得及び対応能力の維持・向上を図った。	・新型インフルエンザ等対策行動計画改定に合わせ、関係機関との研修・訓練等を検討する。	-
	熊本県菊池保健所	・菊池保健所、熊本再春医療センター、菊池広域連合消防本部で連携して二類感染症疑い患者発生時の対応訓練を実施した。(R7.3.5)	・菊池保健所、熊本再春医療センター、菊池広域連合消防本部で連携して二類感染症疑い患者発生時の対応訓練を実施。(R7.12.19)	<p>・訓練を通して、関係機関で二類感染症患者又は疑い患者が発生した際の対応について確認・共有することができた。</p> <p>・あらゆるケースに対応できるよう、様々な想定で来年度以降も訓練を継続実施していく必要がある。</p>